

小学生に対するアンガーマネジメント・プログラムの有効性に関する研究とその実装

稲田尚子（帝京大学 文学部心理学科 准教授）

背景と目的：近年、小学校での暴力行為の件数は増加傾向にあり、その背景にある怒り・攻撃性への対応は喫緊の課題である。怒りは、すべての人が共通して抱く感情であるため、全員を対象としたユニバーサルなプログラム（1次支援教育）としてのアンガーマネジメントが注目されてきている。それにより、不適切な怒りの表出を抑制し、対人関係のトラブルを予防し、学校生活およびその後の社会での適応促進につながると考えられる。しかしながら、通常の学校現場で教師が実施可能なプログラムおよび、その効果検証の報告はほとんどない。また、怒りには感情的・認知的・行動的側面があるが（Spielberger et al., 1988）、その3つの側面すべての怒りのマネジメントを試みたプログラムは、我が国ではまだ行われていない。そこで本研究では、筆者らが開発したアンガーマネジメント・プログラム『いかりやわかレッスン』（全5回、1回45分）を通常学級で実施することにより、小学3～6年生に対するプログラムの有効性を検討することを中心とし、以下の4つの研究を実施した。最後に、今後の社会実装に向けてワークブック等の改訂および補助教材の開発を行った。

研究1 学校での怒りの多次元尺度（Multidimensional School Anger Inventory：MSAI）短縮版の小学校中学年への適用

有効性の効果指標として使用を検討している JS-MSAI は、小学5年生以上を対象に標準化されているため、小学校中学年への適用を検討した。小学3-4年生581名を対象に、GP分析、IT相関、Cronbachの α 係数を算出し、また、確認的因子分析を行った結果、適度な信頼性と妥当性が示され、JS-MSAIは小学校中学年に対しても使用できることが明らかとなった。

研究2 小学校の通常学級におけるアンガーマネジメント・プログラム（1）

小学校の通常学級における『いかりやわかレッスン』の有効性について、関東、近畿地区の国公立小学校6校16学級515名を対象に、プログラムの前後における学校での怒り（JS-MSAI）、攻撃的な伝え方、怒り感情についての否定的あるいは必要性の認識に対する児童の主観的な変化を比較した。その結果、JS-MSAIの「怒り体験」や、怒り感情に対するネガティブ感情が低下し、またMSAIの「積極的対処」や怒り感情に対する必要性の認識が向上したことから、『いかりやわかレッスン』が児童の怒り感情に対する態度や対処行動に一定の効果があることが示された。

研究3 小学校の通常学級におけるアンガーマネジメント・プログラム（2）

小学校の通常学級における『いかりやわかレッスン』の有効性について、児童の変化について教員評価による客観的な変化の側面から検討した。関東、近畿地区の国公立小学校6校16学級の担任16名のうち15名が参加した。研究2と同じ対象について、学級全体での児童の行動には変化が認められなかった。怒り感情のコントロールに困難がある児童とそうでない児童を各2-3名選出してもらい、83名について、プログラム前後での情緒と行動の問題（SDQ）を比較したところ、コントロールに困難がある児童では、行為の問題、多動不注意が低下、向社会的行動が上昇し、概ね好ましい変化が認められた。

研究4 小学校場面における児童に怒り感情を喚起させる出来事の種類

児童の自己報告に基づいて、小学校場面において、どのような出来事が児童の怒り感情を喚起させるのか、およびその分類を検討した。近畿地区の国立小学校4、5年生212名を対象とし、自由記述で怒り感情を抱く出来事について収集し、分類した結果、言語的攻撃、物理的攻撃、関係性・行為の強要、期待との不一致、共感/反感の5つのカテゴリーが示された。

成果1 『いかりやわかレッスン』社会実装のためのツールの改訂と作成

『いかりやわかレッスン』のワークブック、クリアファイル、実施マニュアル、保護者用パンフレットを改訂し、場面ポスター、表情絵、補助教材としてのワークシート等を新たに作成した。

今後の課題：児童の行動の変化には、プログラム実施に関する様々な変数が影響している可能性もあるため、今後さらに協力校を増やし、プログラム実施の形態（実施者が担任教師か否か、各回の実施間隔など）や、学年、学級風土、プログラム実施後の振り返りや声かけへの活用、児童の理解度やスキル使用の程度等との関連を詳細に検討していく必要がある。

倫理的配慮：本研究は、佐賀大学大学院学校教育学研究科研究倫理審査委員会の承認を得て行われた。

共同研究者

寺坂明子（大阪教育大学）・下田芳幸（佐賀大学）・黒山竜太（熊本大学）・石田航（帝京大学）・尹成秀（帝京大学）